

ERC

光学30倍ズーム内蔵高感度ハイビジョンカメラ

CASHD30SDI は光学 30 倍ズームレンズ内蔵の 417 万画素 C-MOS 撮像素子を使ったフルハイビジョンカメラです。HD-SDI 方式出力で各種制御を RS-232C で外部から行なえます。



▼主な特長

30 倍光学レンズを内蔵、さらに電子ズームも可能。

30 倍の電動ズームレンズを搭載。さらに電子ズームを 4 倍でデフォルト設定してあります。電子ズームは最大 12 倍まで可能です。

カメラの制御は RS-232C 方式。

専用コントローラやパソコンなどから RS-232C 方式でコントロールできます。

最低至近撮影距離は 10cm。光学最大ズーム時で 120cm まで寄れます。

最低至近撮影距離は 10cm (Wide 端) で光学最大ズーム時に最低至近距離は 120cm まで可能です。

左右反転モード、上下左右反転に切替え可能です。

左右反転モード、上下左右反転等に切り替えて使うことが可能です。

高感度モードで 0.009 lx での照度でも撮影可能です。

非常に暗い状態でカラーをそのまま残した画像を見る事が出来ます。

画像静止画機能を搭載。

撮影中に画像を静止画で出力することができます。

中央重点測光機能。

画面中央の状態を重点的に測候し画面の明るさを決める中央重点測光機能で映像を見る事ができます。

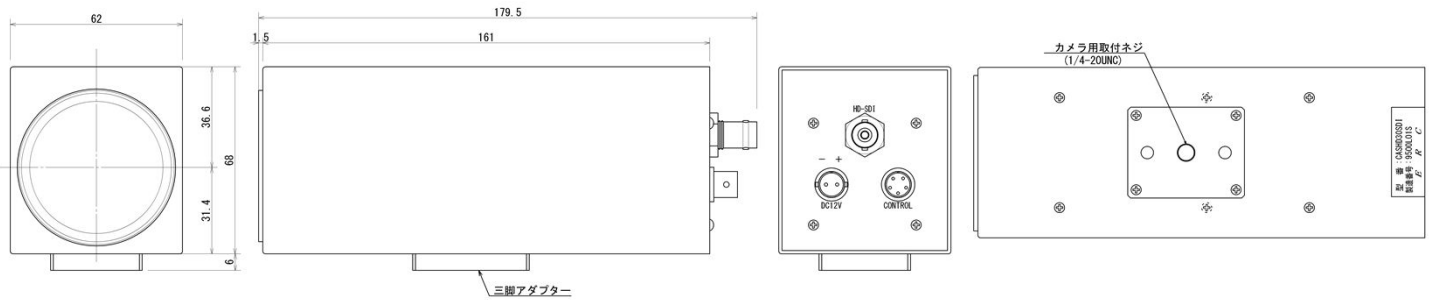
シャッター速度の設定が可能。

シャッター速度を 1 秒から 1/10,000 秒まで 22 段階の設定が可能です。

HD-SDI 方式出力。

出力は HD-SDI 方式で、同軸ケーブルでモニター-TV に接続します。

▼ 外観図



カメラ仕様

CASHD30SDI	
撮像素子	1/1.8型 STARVIS CMOS センサー
有効画素数	417万画素
映像信号	1920×1080/59.94p/60p/50p,29.97p/30p 1920×1080/59.94i/60i/50i
同期方式	内部同期
映像出力	HD-SDI信号方式
カメラ制御	RS-232C 9.6kbps/19.2kbps/38.4kbps. データ長:8bit ストップ bit :1bit 出荷時9.6kbps
レンズ	光学30倍ズーム、f=6.5mm(Wide)~162.5mm(Tele),F1.6~F4.8
電子ズーム	デジタルズームOn/Off 最大12倍(×1,×2、・・・×12)
ズーム移動時間(最速値)	光学Wide~光学Tele:5.3秒、光学Wide~D-12倍Tele:6.6秒
ズーム速度	8段階選択可(Seperate-Mode時)
フォーカス移動時間	∞~Near:1.4秒
画角(水平)	58.1°(Wide端)~2.3°(Tele端)
最近撮影距離	100mm(Wide端)~1200mm(Tele端)
最低被写体照度(50IRE)	0.009lx 1/30高感度モードON時、0.09lx 1/30 高感度モードOFF時
被写体照度範囲	100~100,000Lx
電子シャッター	1/1~1/10,000sec 22ステップ
ホワイトバランス	Auto/ATW/Indoor/OutDoor/OnePush WB/Manual WB/Sodium Lamp Auto
AE制御	Full Auto/シャッター優先/アイリス優先/Manual/スポットAE
ゲイン	Auto/Manual(0~+50db, 28ステップ)
露出補正	On/Off Low, Mid, High
逆光補正	On/Off
Defog モード	On/Off 強、中、弱
画像効果	白黒/静止画(フリーズ)
輪郭補正	16段階
プリセット	ポジションプリセット:16通り カスタムプリセット:1通り
上下左右反転機能	On/Off
保存温度/湿度	-20°C~+60°C/20~95%
動作温度/湿度	-5°C~+60°C/20~80%
電源電圧	12VDC
消費電力	5.5W(モーター動作時7.8W)
重量	1012g
映像コネクタ	BNCコネクタ
CONTROLコネクタ	R03-R5M(多治見)
電源コネクタ	R05-R2M(多治見)
外形寸法(W×H×D)コネクタ、台座含まず	62×68×162.5
外形寸法(W×H×D)コネクタ含む	62×68×179.5 (台座6mm別)

付属品:ACアダプター(DC12V)

製造元	販売元
<p>ERC イーアールシー有限会社</p> <p>〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-12-908</p> <p>TEL:03-5577-5919 FAX:03-3255-5838</p> <p>URL:http://www.erc-c.jp/</p>	

※記載事項は2022年9月現在のものです。